

ご挨拶

—東都文京病院2016年の秋—

夏の厳しい暑さに続いた秋の長雨と台風もさり、やっとさわやかな青空が見られるようになりました。台風に被災された地域の皆様には、謹んでお見舞い申し上げます。この間、リオ五輪・パラリンピック、築地市場豊洲移転問題、日本人の3年連続ノーベル賞受賞などが話題の中心となりました。また、平成27年の日本人の平均寿命が公表され、女性87.05歳(世界第2位)、男性80.79歳(世界第4位)と過去最高を更新しました。季節の変わり目は、体調を崩しやすく、特にご高齢の皆様には朝晩の冷え込みにご注意くださいますようお願い申し上げます。

さて当院では、再建の歩みは着実に前進し、今年の産婦人科・女性科病棟に続いて内科系・外科病棟の3階・4階リニューアル工事が8月に完了し、全病棟稼働の準備が整いました。また、8月から耳鼻咽喉科は谷内晶子医師に加えて、吉原俊雄医師を迎え、診療体制が強化されました。さらに、10月から外来と病棟で電子カルテシステムが導入されました。新システムへの移行に伴い、患者の皆様には待ち時間などでご迷惑をおかけしましたが、診療情報の共有化と医療事務の効率化により皆様への医療サービス向上に努めたいと思います。

今後、地域の高齢化に備えて理学療法(リハビリ)室の拡充により脳梗塞や骨折などに起因する運動器障害の回復期リハビリテーション機能の充実を図ります。また、血液透析機器を導入し、入院透析を行う体制の準備を進めています。

当院は地域の医療施設との機密な連携の中で、二次医療機関として急性期から回復期の医療機能に加えて、周産期・小児医療による母子支援から、健康長寿を目指す健診まで、幅広く地域の皆様のニーズに応えられる小回りの利く総合病院でありたいと思います。皆様のご支援とご協力をお願いいたします。

2016年10月吉日
東都文京病院院長 杉本充弘